

# 芸振

もくじ

大分県芸術祭の方向	1
国民文化祭を視察して	2
第27回大分県芸術祭 受賞者のよこび	3
海外派遣報告	4
文化団体の姉妹締結について	5
基金事業アンケート	6～7
事務局だより	8



大分県芸術文化振興会議

■発行人:仲町謙吉 ■編集人:秋葉正嗣

(願字 塚篠山)

No. 85

平成4.3

## 県芸術祭の方向

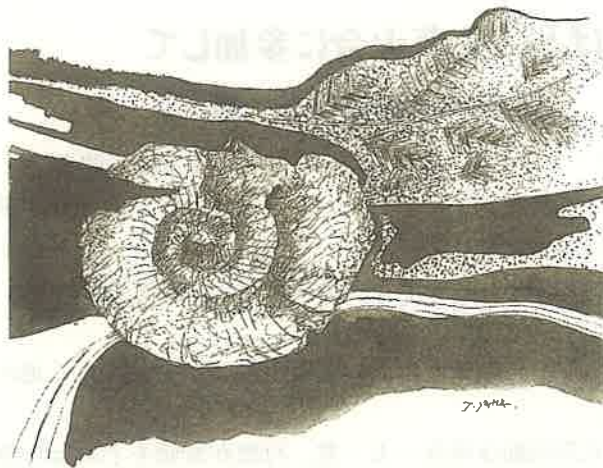


大分県芸術文化振興会議  
会長 仲町 謙吉

行事数が過去最高だった第27回県芸術祭は大変な盛り上りであった。ある見方では、水ぶくれ、県芸術祭と評する向もある。それは行事の中で一番数が多い参加行事の質からであろう。一社中・一個人では参加行事には認められなかった頃もあり、芸術祭運営協議会で厳しくチェックされた。それがその行事の評価にもなった。これが緩くなったのには、時代的な多様化の文化情勢の反映

も大きい。文化団体の組織力の弱さ、個性の強い芸術文化団体の特質、更には参加行事には経済的な支援がない等の重なりが、参加申込の遅れや、不参加をも生みだすことになっている。一方、地域行事の参加をすすめる結果が多様化を早め、産業文化祭・ふるさと祭、等が参加行事となって性格を変えつつある。底辺を拡大し県民総参加にも意義はある。ここで県芸術祭の方向が問題となる。思うに39年県芸術文化振興会議が発足、40年県芸術祭開始、高度経済成長期でもあり県美術協会も統合することで県費補助金が増額され、最大の文化団体となり、他の団体も県芸術祭主催行事の補助を受け、県民オペラ、県民パレエ・県民吹奏楽県民演劇など県芸術祭と共に発展充実してきた。50年代は、オイルショックによる県費補助金の減額が、独自財源の確保の必要性を生み、文化基金募金運動を展開、6年間の活動の結果、県費と募金計で3億数千万円の県芸術文化基金が完成。60年その運用開始。この年、知事も文化創造元年と名づけ、「豊の国文化創造懇話会」発足。62年「豊の国文化創造県民会議」に発展。平成元年9月答申、国民文化

祭の誘致、大型文化施設の整備、人づくり等を提言した。直ちに知事部局に文化振興室が新設され、提言にそった事業の推進、地域しかない文化の掘り起こし「一村一文化推進」などをすすめている。昨年暮「文化を語る夕べ」でも知事は、国民文化祭の誘致の時を打出し、県病跡地の利用について、大型ホール等具体案の提出方を指示された。今こそ、国民文化祭を志向しながら、県芸術祭の歩みの中で、県芸術祭の加盟団体が果たしてきた役割、質的な向上、相互の研さんに努力してきた、30年に近い歴史を大切にしながら、大分県の芸術文化団体が足腰の強い質の高いものとならなければならない。平成2年度から開設された国の芸術文化振興基金助成金に積極的に応募して、自ら芸術向上に燃える熱意を示してほしい。これが県芸術祭の方向を拓くものになるであろう。



「シダとアンモナイト」

山崎哲一郎

(大分市立滝尾中学校教諭・県美協会員)

## 国民文化祭を視察して



### 第6回国民文化祭を視察して

大分県芸術会議常任理事 菅 久

第6回国民文化祭が昨年11月16日から25日まで千葉県内15市1町で展開されたが、開会式を中心に伝統工芸や生活文化フェアなどと県立美術館の全国公募展を視察した。

国民文化祭はアマチュアを対象にした全国文化祭だが、開会式での音楽はかなりレベルが高かったと感じた。アマの中にもプロ級の人が沢山いるが、こんな人が国民文化祭を支え盛大にしているのだと思う。

高さを競うプロの芸術祭に対して、国民文化祭は底辺の拡大が狙い。しかし芸術は高さを求めてこそ底辺が広がるので、アマが甘さになってはいけない。平成9年か10年に大分県開催予定の国民文化祭が気掛かりである。何よりも会場の早期建設と指導者や研修等。



### 国民文化祭ちば91・閉会式に参加して

大分県芸術会議副会長 中 沢 とおる

11月23日、東京行一番の飛行機で羽田につき、その足で船橋市中央公民館でおこなわれた。「演劇・演芸」部門の「日本の民話劇」に「ひとり語り」で出演された首藤悦爾さん（児童文化協会会長）激励のため車をとばしたが、途中昼食をとったのが仇で、首藤さんの出番は終わっていた。地下駐車場があり、広いロビーでお世話をする方々から歓迎をうけた。とてもいい感味で、千葉県民の第6回国民文化祭によせる気持が伝わった。

他のいくつかの部門に大分からの出演者があったが、お目にかかれず残念であった。

閉会式は千葉城と並んで高台に建った千葉県文化会館であったが、すばらしいの一語につきた。第一部の音楽を担当した高等学校のレベルは一級のハイレベル。次回担当の石川県へのエンディングは感動的でさえあった。東京の隣の県ということがすべての意味で決定的要素ではあるが、大分も迎える以上は、その質において覚悟があると実感した。



### 国民文化祭ちば91・文芸大会に参加して

大分県芸術会議監事 日 野 正 美

文芸部門は、千葉市幕張メッセ・コンベンションセンター満員の参加者で開会した。国民文化祭は、文化の団体（国民体育大会）ともいわれ、文化庁や県などが主催となって開催されている。当部門は、今年も国内はもとより、アメリカ、ブラジルなどからも多数が応募。基調講演は朝日新聞「折おりの歌」の筆者、大岡信氏の「日本の詩歌」であった。参加者は、大きな感動を抱いて散会した。

文化祭成否の評価は、集った人々に如何ほどの感懐を持たせえたかによると思う。中央に近く地の利を持つ千葉県でさえ準備に3年は要したという。

大分県での開催は平成9年ともいわれている。文芸活動は所詮一人一党、行政が音頭をとれば作品が、人が集まるというものではない。地域グループの育成と意識の醸成。団体なみの組織と、息の長い取り組みが必要である。行政当局、芸術も準備に入っても早くはない。

## 第27回大分県芸術祭 受賞者のよろこび



明野レディースコーラス  
山崎 泰子

私たちにとって「コーラス」は日常生活の中に組み込まれていて、学生が学校に行くように、サラリーマンが会社に行くように、1週間の連続が1ヵ月、1年、10年、20年と続いて来ました。もちろんその間に色々な事がありました。メンバーの新しい出会い、悲しい別れ、楽しい練習、感激のステージ。その1日1日の積み重ねが「明野レディースコーラス20周年記念演奏会」でした。

この度、思いがけずも芸術祭の功労賞を頂き、20年間の全てのメンバーの皆さんが「よかったねー！」と喜んでくれているような気がします。メンバーはもちろん、ご家族の皆様、コーラスを聞いて下さった沢山の皆様のおかげだと、心から感謝しています。



大分県洋舞踊協会  
安東 光子

このたび第27回大分県芸術祭奨励賞をいただき心からうれしく思っております。

受賞にあたり、特に恩師笠木啓子先生はじめ大分県洋舞踊協会の諸先生方皆様に深く心から感謝御礼申し上げます。受賞を手にした時、このいたらない私なのに……と言葉にならない感激でいっぱいでした。

この賞を一つのステップとして、これからも精進と努力をしていく決意です。

宣しく御指導の程お願い申し上げます。



花の会アンサンブル・ラ・メール  
三浦 美穂

この度の受賞は、これまで歌いつづけてきたことへの確信をもつことができ、深く感謝と、喜びでいっぱいである。またこの受賞は、私の回りの理解者、先生方、友人、歌を聞いて下さ

る方々の大きな力によるものである。そして多くの人と喜びを分かちあえたことに幸福を感じている。これを私の新たなエネルギーとし、音楽に真面目に、夢をもって立ち向かいたいと思っている。限りないものへの挑戦に今、身体の引き締まる思いである。



大分市少年少女合唱団  
杉田 信男

大分市と、教育委員会の主催で、第1回大分市民音楽会が開催されたのが、昭和50年であった。

あれからもう17年。第1回から何らかのかたちで参加してきた私にとっては、感慨深いものがある。

今では出演団体も多く、ステージと客席が一体となったこの市民音楽祭は、多くの方々から高い評価をいただいている。

それだけに、今回の受賞は、私個人というよりも、今日まで長い間市民音楽祭を支えてくれた方々と共に、いただいた賞だと考えている。

これからも、大分市民音楽祭をとおして、大分県芸術文化振興のために、少しでもお役にたちたいと思っている。



大分県民演劇制作協議会  
青井 百合子

今回、「妖鬼 大神杜女」で主役を演じ、新人賞をいただいた。私は、県民演劇に入団して、人を愛する事のできる人でなければ他人に感動は与えられない事を教えられました。6年間それを心にとめ、自分を見せるのではなく、作品を見せる事に劇団員として努力してきた。

今回の受賞は、その生き方が正しいと証明されたと思っている。「文化」と叫ばれる今こそ、その心を持ち続け、見せかけでない本物作りが必要だと思う。私はこれからも一層努力していきたいと思う。今回は、本当にありがとうございました。

## 海外派遣報告

### 海外研修

#### サンクトペテルブルグより帰って



大分県民演劇制作協議会  
清末典子

ペテルブルグでは午前8時頃にやっと太陽が昇り、午後3時30分頃にはもう外は真っ暗になる。だからこの国の人々は、劇場を愛し、本を愛するようになったのかもしれない。

激動のソ連、今はもうその国名は無い。でも私がこの国にいる間中、急転するこの国の流れを感じることはなかった。日本に帰ってその激動の速さを知って驚いた。

人々は、レニングラード（ペテルブルグの旧名）の名を口に出さず、ロシアの旗を掲げていた（私は、ソ連の国旗を一度も見なかった）。また、あちこちにある銅像の中で（本当に街のあちこちに有名人の記念像が建っている）私の見た範囲の中にレーニンの銅像を見ることはなかった。ロシアの人達の気持ちはすでに決まっていたのかもしれない。

それよりも人々は、食糧を、生活用品を手にするために、一日の半分の時間を行列のために使う。夜の明ける前から列にならび、陽が落ち店が閉ってもまだ行列は続く。そんな生活の中でも人々は劇場に足を運ぶのだ。毎晩、すべての劇場で違う演目が上演され観客は満席だ。人々は明日の活力を得るために、最高のおしゃれをして劇場へ足を運ぶのである。国が消滅するこの激動の時に……。演劇が、この国の人々の生活の奥深くに根ざしていることを知り羨ましかった。

近代演劇のメッカを訪れ、肌にふれ勉強できたことをじっくりとかみしめました。

チャンスをあたえて下さったことに心から感謝申し上げます。

### 海外研修

#### ヨーロッパバレエの研修一人旅



笠木啓子バレエ研究所  
笠木啓子

この度、大分県芸術文化基金事業、海外研修派遣研修員として、勉強に行かせて頂きましたことは、大分県洋舞踊協会の皆様を始め、関係各位の諸先生方に、心から厚くお礼申し上げます。

私のバレエ研修は、約1ヶ月の期間でしたがフランス、オランダ、ベルギーの3ヶ国を回りそのレッスン・システムや、舞台作りの課程、そして演出、振付けの研究に、数多くの作品を鑑賞出来ましたことは幸いでした。

特に、フランスでは、世界的なバレエ、パリオペラ座の附属バレエ学校の天使の舞いで有名な、ジュニア・クラスのレッスンを見学できましたことは、この度の研修の歩みにとって、大きな喜びであり感動でした。このジュニア・クラスの指導者は、パリ・オペラ座バレエ団出身のソリストとして、長年活躍されたデュポ先生でしたが、お会い出来ましたことは、大きな収穫でもありました。

次に、オランダの公的レベルの国立ナショナル・バレエ団、国立のネザーランド・バレエシアター・スカピーノバレエ団にて研修することが出来ました。コスチュームや小道具等の新しさについて、ダンサーの動きなどについても話題が付きなかったのですが、これからの生活の上に、少しでも整理して生かしてまいりたいと思います。



# 文化団体の 姉妹締結について



国東町文化協会長 田 中 三 郎

芸振No84号で、国東町文化協会と玖珠町文化振興会議の両文化団体が姉妹締結をし、この目的、活動状況及び構成等は玖珠町の後会長が発表した通りである。よってここでは重複を避け補足発表に留めたい。

近来、政治・経済、その他諸々の機構が都市一極集中に偏しておると言われて久しいが一向に状況は変わらない。御多聞にもれず文化についても同様である。然し一概に文化の一極集中を否定してはならない。何故なれば、そうすることに於て現在まで発展してきているのは事実だからだ。都市に集中して発展する文化、高層ビルの中で生れる文化、それぞれに結構である。だがここで一考したいのは文化の地方分権である。地方の伝統的な泥臭い素朴な文化を守り育てることこそ大切である。芸術にその例を見ると宮崎の民謡「刈干切唄」に正調があり、国東北江の「まてつき唄」にも正調なるものがある。この様な事例が数多くあるということは、世上に出ている「刈干切唄」「まてつき唄」の旋律の美化か、それとも洗練された技巧かその善し悪しは別として、何れにしろ元唄とイメージ的に違うが故に正調なるものが生じたのである。その地方の自然の風土から生まれる文化、これは何ものにも替え難い宝である。この様な観点から、我々が所属する地方の文化団体は今後何をなすべきか言わずもがなのことではあるが、地方文化の伝承と地域に密着した文化の創造であると確信する。

しかし地方の貧弱な一文化団体の力では如何んともし難く、そこで同程度の規模で同じ目的のもてる地方の文化団体と交流し、強力に地方文化の振興に寄与出来る、態勢作りが必要であると思つたのである。この度の玖珠町文化振興会議との姉妹締結もその意図に外ならない。互いに無いものを求め合い、団体同士、会派同士が切磋琢磨し芸能芸術の向上に努めることを誓い、それを実践している現在である。そして我々の更なる願ひは、他の地方文化団体との姉妹締結の輪を拡げ、手を携えて地方の文化活動を強力に押し進めるのが念願である。

最後に、締結する両団体の意向を良として、御支援を賜った県教委、県芸振会議に衷心より感謝の誠を捧げ擲筆する。

(追記) 平成4年7月5日国東町に於て国東町文化協会と玖珠町文化振興会議が合同で姉妹締結1周年記念公演を開催する事に決定。実行委員会を結成し着々と準備中、乞う御高覧を。

# 基金事業アンケート

県内各地において、優れた舞台芸術並びに美術作品を鑑賞していただくために、「ファミリー芸術劇場」「学校巡回公演」「文化キャラバン」などの事業を行っています。

平成3年度事業として、次のとおり実施いたしました。これを観たり聴いたりした人々に、感想（アンケート）を書いていただいたので紹介します。



7月17日

## 鶴見町松浦小・吹小・学校巡回公演

大分大学混声合唱団

素晴らしい生の混声合唱・女声合唱・男声合唱に子供たち376名が感動した。

最後のオペレッタでは、手づくりのユーモラスな演技と歌に、充実した楽しい1時間30分であった。



8月6日

## 姫島村学校体育館・文化キャラバン

花の会アンサンブル・ラ・メール

素晴らしいピアノの伴奏と豊かなハーモニーの女声コーラス・名指揮者の後姿を見ているうちに時間が過ぎてしまいました。このような機会がたくさんほしいです。



8月16日～18日

## 佐伯市で絵画展・学校巡回公演

大分県美術協会

はじめに仲町会長より「絵の見方」の講義があり、優賞作品・推奨作品について比評会があった。本当に良い勉強になった。中央だけでなく、地方でも開催してほしい。



8月21日

## 挟間町挟間小・谷小・学校巡回公演

大分県洋舞踊協会

「バレエを見たことのある人」はほんの少数でもっと見る機会がほしい。きれいな音楽・きれいな踊りに心が洗われるような、楽しい1日でした。



9月5日

## 津久見市民会館・文化キャラバン

大分県日本舞踊連盟

御祝儀の四季三葉草から始まり、初習と続く日本舞踊の真髄を見せられた感じで、その心・振の流・美しさなど楽しく鑑賞いたしました。



9月26日

## 耶馬溪町サニーホール・ファミリー芸術劇場

日本民謡梅幸会

順序よくバラエティーにとんだ企画、また地元民謡を取り入れ、ユーモアたっぷりに、楽しく心温まるものがあり久方振りに本格的な民謡を見て感動し興奮しました。



10月26日

## 荻町中央公民館・文化キャラバン

大分県庁職員吹奏楽団

管楽器の迫力ある演奏は素晴らしい。地元音楽隊との共演で一層の盛り上がりがあった。



10月27日

## 米水津村民センター・文化キャラバン

若柳流大分県協会

日本舞踊の楽しさを見せて頂き有難うございました。またこの農漁村で公演してください。



11月24日

## 武蔵町セントラルホール・学校巡回公演

大分マンドリンオーケストラ

すばらしいマンドリンの演奏を聴き、感動した。また第2部での独唱は一層すばらしく、今日の公演を盛りあげた。再来をお願いします。



12月6日

## 国東町農村環境改善センター・学校巡回公演

カサ・デ・ギターラ

クラシックなどを聴く機会が少ないので大変良かった。子供にはちょっとむずかしいのではないか。しかしすばらしい生演奏でした。

# 事務局だより

## 基金運営協議会開催

芸術文化基金事業の円滑な計画運営をはかるため、芸術文化基金の諮問機関として設置されている基金運営協議会の新しい委員が、次のおり決まりました。

そして、平成4年度の事業概要などについての審議を行い、近く諮問される予定である。

大分県芸術文化基金運営協議会委員一覧表

	現 職	氏 名
学識経験者	大分経済同友会代表幹事	安藤 昭三
〃	大分合同新聞社常務取締役	江藤 嘉美
〃	大分県小・中学校長協議会会長	池田 大洋
〃	国際ソロプチミスト大分会長	児玉シゲ子
〃	大分県中小企業団体中央会会長	山崎 正巳
〃	大分県商工会議所連合会会頭	吉村 益次
〃	大分県立芸術短期大学学長	安永武一郎
〃	大分県立芸術会館館長	宮本 高志
行政関係	大分県総務部長	帯刀 将人
〃	大分県教育委員教育長	宮本 高志

(平成4年2月1日：順不同)

## 会費納入についてお願い

平成3年度も3月31日で、会計年度末を迎えました。本年度各種事業、行事などにつきましては、会員の方々に多大な御協力をいただき、事務局としても大変感激いたしているところであります。

さて会費納入についてのお願いですが、12月末現在、団体会費の納入率は78%・個人会費は80%の納入率です。もし会費納入についてお忘れの方は、3月末までに是非納入くださるようお願い申し上げます。

## 県立病院跡地の文化的活用 について平松知事に要望

さる12月12日開催の「文化を語る夕べ」で、平松知事の挨拶の中で「若者が生き生きと定着し、そして更に10年後をめざして開催予定の「国民文化祭大分大会」に向け、長期的展望に立った文化的「総合文化ホール」の建設についても検討したい」という有難い御挨拶をいただきました。

早速役員会・関係団体(者)会議を開催し、協議のところ、平成3年7月23日の要望に、更に重ねて要望することになり、12月20日関係者ととも強く要望したところであります。

## 住所変更・ 代表者の変更等は事務局へ

年度末・年度始を迎え会員の方々には、色々と御多用のことと思います。定期総会・会議などで、所在地(住所)変更・代表者の交替・事務局の異動などがありましたら事務局まで連絡してください。

〈連絡先〉

大分市府内町3丁目10-1

大分県教育庁管理部文化課内

大分県芸術文化振興会議 宛

Tel 0975-36-0522

## 平成4年度芸術文化振興基金 助成金の要望書提出

地域文化施設公演・展示活動事業として3団体、アマチュア等の文化団体活動事業として5団体、民俗文化財の保存活用事業として1団体、合計9団体がこのたび要望書を提出した。

## 新 入 個 人 会 員 紹 介

番号	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号	所属団体
166	笠 木 啓 子	●●●●	●●●●	(0975)42-1700	大分県洋舞踊協会
167	村 田 浩 司	●●●●	●●●●	(0975)36-1707	萬 謡 会
168	松 井 猛	●●●●	●●●●	(0975)36-1707	萬 謡 会